

平成29事業年度

決算報告書

自：平成29年4月 1日

至：平成30年3月31日

国立大学法人愛媛大学

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	13,246	13,371	125	(注1)
施設整備費補助金	208	209	1	
補助金等収入	223	533	310	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	39	39	0	
自己収入	24,365	25,794	1,429	
授業料、入学料及び検定料収入	5,240	5,173	△ 67	(注3)
附属病院収入	18,807	20,215	1,408	(注4)
雑収入	318	406	88	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,050	3,873	823	(注6)
引当金取崩	57	68	11	(注7)
長期借入金収入	376	374	△ 1	
計	41,564	44,262	2,698	
支出				
業務費	35,964	36,594	630	(注8)
教育研究経費	16,994	16,461	△ 533	
診療経費	18,970	20,133	1,163	
施設整備費	622	623	0	
補助金等	223	533	310	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,050	3,149	99	(注10)
長期借入金償還金	1,704	1,687	△ 17	(注11)
計	41,564	42,586	1,022	
収入－支出	0	1,676	1,676	

注) 「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」のうち、前年度よりの繰越額からの使用額 542百万円

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当及び年俸制導入促進費が追加交付されたことにより、予算額に比して決算額が125百万円多額となっております。
- (注2) 補助金等収入については、補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が310百万円多額となっております。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者の減少等により、予算額に比して決算額が67百万円少額となっております。
- (注4) 附属病院収入については、高額医薬品の適用患者の増加や手術件数の増等により、予算額に比して決算額が1,408百万円多額となっております。
- (注5) 雑収入については、主として事業補償費・業務委託料収入等により、予算額に比して決算額が88百万円多額となっております。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、国の各組織、特殊法人及び民間からの受託研究等及び寄附金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が823百万円多額となっております。
- (注7) 引当金取崩については、賞与引当金の発生額に基づく取崩額が予算段階の見込みより多額であったことにより、予算額に比して決算額が11百万円多額となっております。
- (注8) 業務費については、(注1)に示した理由、病院収入増収に伴う支出の増加により予算額に比して決算額が630百万円多額となっております。
- (注9) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が310百万円多額となっております。
- (注10) 複数年度計画における受託研究費等により、予算額に比して決算額が99百万円多額となっております。
- (注11) 長期借入金償還金については、予算段階では把握できていなかった借入利率の確定により、予算額に比して決算額が17百万円少額となっております。